



報道機関 各位

記者発表資料
 令和5年1月16日（月）
 問い合わせ先：指導1課
 課長：藤田
 担当：古川、江原
 電話：829-1659
 内線：4053

「OECD PISA-based Test for Schools」の結果を報告します

令和4年3月に実施しました「OECD PISA-based Test for Schools」のさいたま市の結果概要について、下記のとおりお知らせします。

記

1 PISA-based Test for Schools について

- ◇PISA-based Test for Schools は、OECD による国際調査であり、15ヶ国9,000校以上で実施されています。
- ◇多くの国で義務教育終了段階にある15歳の生徒を対象に、それまで身に付けてきた知識や技能を、実生活の様々な場面で直面する課題にどの程度活用できるかを測り、その結果を教育施策の改善や見直しに活かすことを目的としています。
- ◇PISA が国別に結果を提供しているのに対して、PISA-based Test for Schools は、学校別に結果を提供しています。

2 調査の概要

実施校	さいたま市立 大宮南中学校	さいたま市立 浦和中学校	さいたま市立 大宮国際中等教育学校
実施日時	令和4年3月1日	令和4年3月4日	令和4年3月5日
内 容	<p><調査項目> 読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシーの調査（2時間）及び、生徒質問調査（30分）</p> <p><特 徴></p> <ul style="list-style-type: none"> ・PISA と同様の構成 ・調査問題は非公開 ・生徒は7種類のテスト問題群のうち、ランダムに決定された1種類を解答 ・学校所有のパソコンを活用し、オンライン環境による CBT (Computer Based Testing) 方式で実施 		

3 さいたま市の結果の概要

(1) 読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシーの調査

	読解力	数学的 リテラシー	科学的 リテラシー
さいたま市立学校 平均得点	591	628	603
(参考)2018OECD PISA 調査 日本得点	504	527	529
(参考)2018OECD PISA 調査 OECD 得点	487	489	489

- すべての項目において、2018年OECD PISA調査によるOECDの得点及び日本の得点を上回っています。
- 特に、数学的リテラシーにおいて、2018年OECD PISA調査によるOECDの得点及び日本の得点を大きく上回っています。

(2) 生徒質問調査

- 「科学の学習意欲」に関して、「科学を学ぶことは、自分の将来にとって大切だと考える」項目における「まったくそうだ」「そう思う」と回答した割合
⇒2018OECD PISA調査におけるOECD平均及び日本平均に比べて高い
- 授業方法に関して、「先生が学習の目標をはっきり示す」「先生が学習する内容を説明する」項目における「いつもそうだ」「たいていそうだ」と回答した割合
⇒2018OECD PISA調査におけるOECD平均及び日本平均に比べて高い
- 教室の規律ある雰囲気に関して、「騒音や無秩序を経験している」と感じている項目が0%（そう感じている生徒が全くいない）

議題 1

「OECD PISA-based Test for Schools」の 結果を報告します

さいたま市教育委員会

PISA for Schools
2022



「OECD PISA-based Test for Schools」について

「PISA-based Test for Schools」は、OECD（経済協力開発機構）による国際調査であり、15ヶ国のべ9,000校以上で実施

日本では埼玉県が
唯一実施

調査の対象 義務教育終了段階にある15歳の生徒

調査の目的 これまで身に付けてきた知識や技能を、実生活の様々な場面で直面する課題にどの程度活用できるかを測り、その結果を教育施策の改善や見直しに活かすこと

**PISAが国別に結果を提供しているのに対して、
PISA-based Test for Schoolsは、学校別に結果を提供します**

PISA for Schools
2022



調査の概要について

実施校	さいたま市立 大宮南中学校	さいたま市立 浦和中学校	さいたま市立大宮 国際中等教育学校
実施日	令和4年3月1日	令和4年3月4日	令和4年3月5日

調査項目 読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシーの調査（2時間）
生徒質問調査（30分）

PISA for Schools
2022






特徴

- ◇PISAと同様の構成
- ◇調査問題は非公開
- ◇生徒は7種類のテスト問題群のうち、ランダムに決定された1種類を解答
- ◇学校所有のパソコンを活用し、オンライン環境によるCBT（Computer Based Testing）方式で実施

さいたま市の結果概要について

(1) 読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシーの調査

	読解力 	数学的リテラシー 	科学的リテラシー 
さいたま市立学校 参加校平均得点	5 9 1	6 2 8	6 0 3
(参考) 2018OECD PISA調査 日本得点	5 0 4	5 2 7	5 2 9
(参考) 2018OECD PISA調査 OECD得点	4 8 7	4 8 9	4 8 9

全ての項目において、2018年
PISA調査によるOECD得点及び日
本得点を上回っている

中でも、数学的リテラシーに
おいて、大きく上回っている

さいたま市の結果概要について

(2) 生徒質問調査

「科学の学習意欲」「授業方法に対する生徒の認識」「教室の規律ある雰囲気」等に係る約50の質問調査を実施

さいたま市の特徴

- ◇「科学の学習意欲」に関して、「科学を学ぶことは、自分の将来にとって大切だと考える」項目における「まったくそうだ」「そう思う」と回答した割合
⇒2018OECD PISA調査におけるOECD平均及び日本平均に比べて**高い**
- ◇授業方法に関して、「先生が学習の目標をはっきり示す」「先生が学習する内容を説明する」項目における「いつもそうだ」「たいていそうだ」と回答した割合
⇒2018OECD PISA調査におけるOECD平均及び日本平均に比べて**高い**
- ◇教室の規律ある雰囲気に関して、「騒音や無秩序を経験している」と感じている項目が、**0%（そう感じている生徒が全くいない）**

PISA for Schools
2022



さいたま市の結果概要について

(3) OECD 教育スキル局 アナリスト 大久保 智哉氏 によるコメント

- さいたま市の中でも特に浦和中学校の得点は、OECD加盟国においてもとても高いレベルで学習状況の達成が見られる。
- さいたま市3校の解答状況から、情報端末の扱いに慣れていることが伺いみえる。これは、GIGAスクール構想による効果かもしれない。
- TALIS (OECD国際教員指導環境調査) 報告書や本調査の結果と合わせると、
 - ・ 成績上位と下位の差が少ないこと
 - ・ 教員の勤勉さ
 - ・ 効果的な学習への取組が挙げられる。
- さいたま市参加校においてはOECD加盟国に比して、学習習熟度のみならず、学校生活や意欲・態度においても、高い達成が見られる。一方で、TALIS報告書においては日本の教員の長時間労働が示されている。



(資料) PISA2018 読解力サンプル問題

ラバヌイ島 問7

ラバヌイ島 問7

PISA 2018

ラバヌイ島 問7/7

右のタブをクリックすると、それぞれの資料を読むことができます。下の問いの答えを入力してください。

三つの資料を読んで、あなたはラバヌイ島の大木が消滅した原因は何だと思えますか。資料から根拠となる情報を挙げて、あなたの答えを説明してください。

サイエンス ニュース

ラバヌイ島の森を破壊したのはナンヨウネズミか？

科学レポーター 木村 真

2005年、ジャレド・ダイヤモンド氏の『文明崩壊』が出版されました。この本の中で、彼はラバヌイ島（別名イースター島）に人が定住した様子を描いています。

本書は出版と同時に大きな議論を呼びました。多くの科学者が、ラバヌイ島で起こったことについてのダイヤモンド氏の説に疑問を抱いたのです。科学者たちは、18世紀にヨーロッパ人がその島に初めて上陸した時には巨木が消滅していた点については同意しましたが、消滅した原因についてのジャレド・ダイヤモンド氏の説には同意しなかったのです。

そして、二人の科学者カール・リボ氏とテリー・ハント氏による新しい説が発表されました。彼らはナンヨウネズミが木の種を食べたために、新しい木が育たなかったと考えています。そのネズミはラバヌイ島の最初の移住者である人間が上陸するために使ったカヌーに偶然乗っていたか、または、この島に意図的に連れてこられたのだと、彼らは述べています。

ネズミの数は、47日間で二倍に増えるという研究結果があります。それほど数のネズミが育つには多くのエサが必要です。リボ氏とハント氏はこの説の根拠として、ヤシの葉の痕跡にネズミがかじった跡が残っている点を指摘しています。もちろん彼らも、ラバヌイ島の森の破壊に人間が加担したことは認めています。しかし、一連の経緯の元凶は主にナンヨウネズミの方にあったというのが、彼らの主張なのです。

タブをクリックし、画面表示する資料を選ぶ。

三つの資料にまたがった情報を統合し、考えをまとめる。生徒は、いずれかの学説を支持するか、またはいずれの学説も選ばずさらなる研究の必要性に言及することもできる。

読解プロセス	評価し、熟考する
出題形式	自由記述
難易度	習熟度レベル 4

引用元

https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/pdf/2018/04_example.pdf

(資料) PISA2012 数学的リテラシーサンプル問題


写真プリントサービスに関する問1

ja-JP Programme for International Student Assessment 2012

写真プリントサービス

右の表は、4つの店のネット写真プリントサービスの料金表です。
4x6 サイズからポスターサイズの20x30まで、サイズごとに価格を比較することができます。
表示されている価格は1枚あたりの単価(ゼット)です。
割引価格および送料は含まれていません。

¹ 割引価格および送料を確認したい場合は、それぞれの店名の上に、マウスを合わせてください。
² 満足度は、利用者が店の満足度を0から3の4段階で評価したものです。表示されている満足度は利用者の平均値で、3が最も高い評価です。黄色は満足度を棒グラフで示したものです。棒グラフ上にマウスを合わせると、評価した利用者の数が表示されます。



店名	4x6	5x7	8x10	20x30	満足度 ²
ベストフォト	0.06	0.26	1.49	10.99	0 3
クリックショップ	0.06	0.30	1.50	10.80	0 3
フォト2000	0.06	0.24	1.49	10.79	0 3
プリントショップ	0.09	0.79	2.99	29.55	0 3

問1: 写真プリントサービス CM030001
上の表によれば、それぞれのサイズを1枚ずつプリントする場合、最も安い店はフォト2000ですか。その理由も説明してください。

?

→

(資料) PISA2015 科学的リテラシーサンプル問題

「暑い日のランニング」問3A・3B

PISA 2015

暑い日のランニング
問3A・3B

シミュレーションの実行方法

シミュレーションを実行し、以下の情報に基づいてデータを集めてください。下の表の答えを一つだけ選び、答えとなるデータを表の中から選び、その理由を入力してください。

湿度が60%の時、気温が上昇すると、1時間走った時点の汗の量にどのような影響を与えますか。

汗の量が増える。
 汗の量が減る。

★ 答えの根拠となるデータを、表の中から選んでください。

生理学上のどんな理由によりこのような現象が生じますか。

実行

気温 (°C)	湿度 (%)	水を取るか	汗の量 (リットル)	水分の喪失 (%)	体温 (°C)
20	60	はい	0.8	0.0	38.8
25	60	はい	1.1	0.0	39.1

問3A: 解答のプロセス及び正答

PISA 2015

暑い日のランニング
問3A・3B

湿度が60%の時、気温が上昇すると、1時間走った時点の汗の量にどのような影響を与えますか。

汗の量が増える。
 汗の量が減る。

★ 答えの根拠となるデータを、表の中から選んでください。

生理学上のどんな理由によりこのような現象が生じますか。

実行

気温 (°C)	湿度 (%)	水を取るか	汗の量 (リットル)	水分の喪失 (%)	体温 (°C)
20	60	はい	0.8	0.0	38.8
25	60	はい	1.1	0.0	39.1

問3Aの正答は「汗の量が増える。」である。
湿度60%で、「水を飲む」は「はい」が「いいえ」のどちらかを選び、その条件を固定したまま、少なくとも2回は異なる温度を用いてシミュレーションを行い、そのデータを選ぶ。

問3Bは記述問題となっており、問いについて解答を記述する。

能力(コンピテンシー)	科学的探究を評価して計画する
科学的知識—システム	手続に関する知識—生命システム
文脈—適用領域	個人的—健康と病気
出題形式	選択肢形式及び求答形式(データの選択)
難易度	531点 - 習熟度レベル3

能力(コンピテンシー)	現象を科学的に説明する
科学的知識—システム	内容に関する知識—生命システム
文脈—適用領域	個人的—健康と病気
出題形式	論述形式
難易度	641点 - 習熟度レベル5

引用元

https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/pdf/2015/04_example.pdf